公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アソベル磐田

公表日　令和 8年 9月 30日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	1	集団活動、学習、遊びの部屋と用途を分け使用している。	もう少し広い部屋があると良い。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	2	1	子どもの状態等に応じ支援場所、担当職員の工夫をしている。	欲を言えばもう１人欲しい。 配置基準としては満たされているが、子どものサポート量や状態により、より必要な場合もある。
	3	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか、また子どもに合わせた環境になっているか	1	3		子ども達自身が自主的に動けるよう予想し整理している。	毎日清掃しているので清潔ではあるが、子どもに合わせているかは難しい。 まだまだ整備の必要性を感じる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		4		毎朝のミーティングにて、昨日の振り返りや本日の活動目標を話し合うようにしている。	会議等で上がれば参加するが、広くは難しい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		アンケートで頂いたご意見は実現できるようにしていく。	アンケート等で言われる意見は真摯に受け止め改善していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		公開しています。	職員間でも共有していく。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1	1	毎月の全体ミーティングが研修の機会でもあり、市や県からの研修案内も職員へお知らせしている。	受けたい研修があるが受けさせてもらえない。 廊下に講習会のお知らせの張り紙がある。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		1	モニタリングにて家庭や学校での様子も踏まえ、計画作成している。	アセスメントの資料を見たことが無い。自分は計画は作成していない。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2		2	社内統一したアセスメントがありそれに基づき計画作成をしている。職員での共有ができるようにしていく。	職員間でも共有していく。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	1	立場関係なく立案を促している。	立案する立場ではない。（お出掛け場所の提案はしている）
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		季節に沿ったものや課題にアプローチした活動を取り入れている。	毎年同じようなものにならないよう様々な情報源から探索している。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		5領域から活動の狙いを設定し支援している。	担当者が早めに職員全体に共有できるようにしたい。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	3		子ども各自の課題、将来目指す所を押さえながら作成している。	個々のチェックシートなどがあると良いと感じる。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎朝のミーティングにて確認している。	休校日には時間が取り難いのが現状。情報共有に取り組んでいる。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		日々近くで支援した職員がそれぞれの子どもの様子を記録するようにしている。	より検証・改善の話し合いの場を設けていきたい。
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3		1	定期的に早めにモニタリングを行えるようにしている。	モニタリングに参加していないし、どのような話をしたのかわからない。 全職員で共有できるようにしていきたい。
	17	ガイドラインの「４つの基本活動」*1を複数組み合わせて支援を行っているか	1	3		計画書にも取り入れ、日々の活動にも取り入れていけるようレク活動を組んでいる。	子どもの持つ力の差があり、集団活動で難しい事もある為、工夫していきたい。

関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		1	児童発達管理責任者が参加するようにしている。	複数人参加できると尚良いと感じる。
	19	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			学校、または保護者と連絡を密にし、不備のないよう心掛けている。	下校表の二重確認なども実施していく必要があると感じる。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3		現在対象児童はいない為対応していないが、主治医への当事業所での児童の様子を報告書として提出しているケースもある。	
	21	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2		障害者支援センターに依頼し研修を実施している。様々な相談もしやすくなっていると感じる。	より様々な助言をもらえるよう常に課題感を持ちながら支援していきたい。
	22	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		参加している。	支援が入る午後の時間での研修等参加は難しい。
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			送迎時や電話にて話をしている。	より話し合う機会を持っていきたい。
保護者への説明責任等	24	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		契約時に説明を行っている。	変更等がある場合もある為、毎年行えると良いと感じる。
	25	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			その都度、またはモニタリング時にお話をさせて頂いている。	利用表への記入いただいた事項についての返答も迅速に行っていく。
	26	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			事業所内にて対応できるものは迅速に修正、返答し、社内にて統一化すべき事項であれば全事業所と協力体制を取り対応する。	即時対応できるよう体制を整えていく。
	27	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		1	毎月1回、活動内容と前月の活動の様子の写真掲載を行っている。	1人1人の子どもの様子を保護者宛て発信していけるようにする。
	28	個人情報に十分注意しているか	4			注意している。	写真掲載等注意していく。
	29	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			それぞれの児童の状況に合わせながら、意志疎通が出来るよう努めている。	外国籍児童・保護者との意思疎通には社内通訳もいるが常時滞在しない為、何らかの工夫がより必要と感じる。
非常時等の対応	30	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			策定し、契約時に説明している。	毎年1回周知できるよう、実施に向け動いていきたい。
	31	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		定期的な避難訓練をしている。	様々な災害を想定して訓練を行っていきたい。
	32	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1		年2回の研修会を実施している。またセルフチェックも行なっている。	パート職員等にも徹底して情報共有していくようにしていく。
	33	食物アレルギーのある子どもについて、保護者等から情報共有や対策措置などを行なっているか	4			アセスメントにて全児童の情報を確認している。	表に明記し、見やすいようにしていく。
	34	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	3	1		毎月の全体ミーティングにて報告することで共有出来ていると感じる。	再発防止についてより確実に支援に活かせるよう明文化していきたい。

*1 「４つの基本活動」①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供